

WASEDA WEEKLY



2011 **4.20**
号外
早稲田大学学生部

東日本大震災に対する本学の対応について

このたびの東日本大震災で、被災されたすべての方々に
心よりお見舞いを申し上げます。

本学では、被災者の方々、被災された学生の皆さんに対し、入学に関する各種手続き、在学上の経済的援助など、できうる限りの支援を行っております。すでにウェブサイト等でお知らせしていますように、入学試験に合格後、被災された方々に対して、入学手続の遅延等に柔軟に対応するとともに、学費等減免や奨学金などの支援を行っております。また、在学学生で家計支持者が被災された方々についても、同様に学費等減免や奨学金などの制度をご用意しています。該当する方は本紙掲載の関係連絡先にお早めにご相談ください。本紙『早稲田ウィークリー』号外では、この震災に伴う学事日程の変更や、各種連絡事項に加え、学生の皆さんが災害に対処する際の重要な情報も掲載しています。必ず熟読してください。

目次

学費等減免・奨学金申請に関するお知らせ	P.2	電力不足による学内ネットワークへの影響や	
在校生(学部・大学院・別科日本語専修課程・芸術学校)の		システムサービスの障害について	P.4
皆さんへ	P.3	いざという時のために「大地震対応マニュアルより」	P.5
東日本大震災による被災地域出身の在学学生(新生を含む)の		早稲田が教える! 読めば安心 震災関連情報の見方	P.6・7
皆さんに対する住居サポートについて	P.3	主なイベントのお知らせ	P.7
就職活動中の皆さんへ	P.3	セミナーハウスについて	P.7
今一度確認しよう! 余震など緊急時の対処について	P.4	家庭教師登録(春期)日程の変更	P.7
キャンパス内節電にご協力を!!	P.4	『早稲田ウィークリー』発行日変更のお知らせ	P.7
授業期間中の開講・開室時間	P.4	東日本大震災に対してボランティアを考えているあなたへ	P.8

東日本大震災による被災地域出身の在学生（新入生を含む）の方へ 学費等減免・奨学金申請に関するお知らせ

今回の災害に対して本学では、「被害状況による学費等の減免」および「日本学生支援機構 緊急・応急採用奨学金」の申請を受け付ける準備をいたしました。

つきましては、必要に応じて、次の手続きを進めていただきますようご案内いたします。なお、既に同手続きをされている場合には、再度手続きを行う必要はありません。

1.学費等減免の申請について

今回の災害等により保証人または学費負担者の家屋の被災状況が甚大または収入状況の変化が著しいと判明した場合、学費等減免を申請することができます。該当者は各学部・研

究科事務所に相談のうえ、4月末日までに必要書類を各学部・研究科宛に提出してください。

※期限が過ぎても可能な限り対応します。

※申請用紙は、http://www.waseda.jp/jp/news10/110317_app.pdfをダウンロードしてご使用ください。

※なお、必要書類がすべて揃わない場合でも、まずは「学費減免申請書」を提出してください。申請書の提出をもって、2011年度前期学費の延納手続きとします（個別の状況に応じて、きめ細かな対応をいたしますので、各学部・研究科事務所に相談ください）。

※対象地域：青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県・茨城県・長野県・新潟県

※上記以外の都道府県についても、余震などにより3月11日の地震以降に被災した場合は、申請を受け付けます。

お問い合わせ・申請書提出先

学部新入生：入学センター

【TEL】 03-3203-4331 ※詳細は以下URLを参照してください。

【URL】 <http://www.waseda.jp/nyusi/inf/110316.html>

学部新入生以外：所属学部・研究科事務所

※学部・研究科事務所の連絡先は以下URLを参照してください。

【URL】 http://www.waseda.jp/jp/news10/110314_eq2.html

2.日本学生支援機構 緊急・応急採用奨学金（貸与）の申請について

今回の災害により災害救助法が適用された地域（またはその周辺地域）で被災し、家計が急変（支出が著しく増大もしくは収入が減少）した場合、「日本学生支援機構 緊急・応急採用奨学金」を申請することができますので、希望する場合は「罹災証明書（市区町村役場発行）」を持参の上、奨学課までお越しください（本奨学金は貸与の奨学金です）。詳しくは、以下のWebページをご覧ください。学生部奨学課にお問い合わせください。

この申請は、保証人または学費負担者の届出住所が東日本大震災による災害救助法適用地域（またはその周辺地域）にある学生のみが対象となり、2012年2月まで申請可能です。

なお、学年延長生、標準修業年限内で卒業できない者、科目等履修生、既に日本学生支援機構奨学金を一種・二種併用で受けている者は対象外となります。

※災害救助法適用地域は以下URLを参照してください。

【URL】 <http://www.waseda.jp/syogakukin/saigai.html>

お問い合わせ・申請書提出先

学生部 奨学課

【TEL】 03-3203-9701 【E-mail】 syogakukin@list.waseda.jp

「夏の奨学金登録」について—学部学生対象（※）—

「春の奨学金登録」ができなかった学部学生（※）を対象に、主に学内奨学金向け「夏の奨学金登録」を8月1日～31日（郵送 ※消印有効）で受け付けます。

詳細は、「2011年度版奨学金情報Challenge【学部学生】」をご覧ください。

※日本人、永住者、定住者、日本人（または永住者）の配偶者・子に限られます。

学部学生の「奨学金情報Challenge」は所属学部事務所で受け取れます。



在校生(学部、大学院、別科日本語専修課程、芸術学校)の皆さんへ

3月18日付けで、東日本大震災の影響により、2011年度前期の授業期間を5月6日から8月4日までの13週とすることをお知らせしました。

本学の授業は半期15週を基本としています。2011年度前期の授業も15週分の授業内容を13週の授業実施期間内で実施し、シラバスに記載されている学習の到達目標を達成しますので、授業の内容や質が例年と異なることはありません(※ただし、大学院法務研究科など、一部の学部・大学院では別の日程になる可能性があります)。

これを保証するために各学部・大学院等では、授業内容や科目の種類(必修、選択など)に応じて、4月中に事前学習ができるような情報の提供(Course N@vi等を利用)、授業期間開始後の補講実施など、適切な措置を採ります。

学生の皆さんは、所属学部・大学院等のホームページやメールで配信される授業に関する情報に注意して、その指示に従って学習してください。

レジデンスセンターから

東日本大震災による被災地域出身の在學生(新入生を含む)の皆さんに対する住居サポートについて

学生向け下宿・アパート・マンション等の仲介業務において本学と協力関係にあり、これまで多くの早大生に宿舎を紹介してきた実績を持つ3社(「株式会社 早稲田大学プロパティマネジメント」「早稲田大学生活協同組合」「株式会社 キャンパス」)は、被災された在學生(新入生を含む)の皆さんへの支援措置を用意しております。

住居が決まっていない在學生(新入生を含む)の皆さんには、状況に応じて柔軟に対応いたしますので、ご相談ください。なお、電話やE-mailでも対応いたしますので、下記の各社宛に遠慮なくご連絡ください。

また、本学直営寮については、既に定員を満たしており、新規受け入れができない状態となっていますが、本学提携寮のうち、株式会社共立メンテナンスの管理・運営する早稲田大学国際学生寮(WID)、また推薦学生寮には若干の空室があります(ほとんどの寮で食事提供を選択可能)。被災された新規入寮者へのサポートとして、初期費用無料や寮費の延納措置などが用意されていますので、遠慮なくご相談ください。

《下宿・アパート・マンション等のご紹介》

物件により提供できるサポートが異なりますので、詳細は以下の各社にお問合せください。また、物件によっては「震災(被災)証明書」や「家計維持者の収入証明書」を提出頂く場合もありますので、予めご了承ください。

株式会社 早稲田大学プロパティマネジメント(学生住宅センター)

【住所】 新宿区戸塚町1-103早稲田STEP21ビル1階

【Tel】 03-5285-3016 【E-mail】 info@wue.jp

【URL】 <http://www.wue.jp/bukken/>

※特別措置物件として、1年間程度の賃料無料物件や、一般家庭における空き部屋の無償提供(食事付き)物件などもあります。

早稲田大学生活協同組合(組合員サービスセンター)

【住所】 新宿区西早稲田1-6-1早稲田大学17号館2階

【Tel】 0120-023-921 【E-mail】 info@wcoop.ne.jp

【URL】 <http://www.wcoop.ne.jp/>

株式会社 キャンパス(UniLife)

【住所】 新宿区高田馬場1-33-5タケトモビル1階

【Tel】 0120-922-866 【E-mail】 waseda@unilife.co.jp

【URL】 http://www.unilife.co.jp/event/campus_waseda.html

《学生寮のご紹介(本学提携寮)》

株式会社 共立メンテナンス

【Tel】 0120-88-1030あるいは03-5295-7799 【E-mail】 wid@dormy.co.jp

【URL】 <http://www.gakuseikaikan.com/dp/waseda/>

■レジデンスセンター

【URL】 <http://www.waseda.jp/rlc/>

キャリアセンターから

就職活動中の皆さんへ

例年であれば4月に採用選考の最盛期を迎える就職戦線ですが、今回は東日本大震災の影響で大幅なスケジュールの変更が生じています。また、震災による企業業績の悪化が懸念されており、採用人数の減少など厳しい事態が予想されます。今後就職活動を進める際には、以下の事項に注意してください。

企業の採用選考スケジュールの変更

被災した学生への特別措置を含め、多くの企業の採用選考スケジュールが変更されています。大手人気企業を中心に採用選考を5月、6月に延期する例が目立ちますが、その一方で、従来どおり4月から選考を開始している企業もありますし、別枠で5、6月に追加募集があるなど、全体として錯綜した状況となっています。今後の日程変更もあり得ますので、企業のホームページや就職情報サイトの最新情報を確認してください。

参考

■日経ナビ

【URL】 https://job.nikkei.co.jp/2012/camp_open/disaster/

■リクナビ

【URL】 <http://job.rikunabi.com/2012/media/disaster/>

■マイナビ

【URL】 <http://job.mynavi.jp/12/pc/scThemebcqu0/theme.html>

志望企業選択について

例年と異なり、多くの企業(大企業、中堅・中小企業)の採用活動が5月、6月ごろに集中することになりそうです。従来は4月の選考で結果が出なかった場合でも、5月、6月の選考で再チャレンジすることが可能でしたが、今回は多くの企業の選考が短期で終息してしまう可能性もあります。選考機会を逃さないために、初期の段階から企業規模にこだわらず、幅広く応募していくことをお勧めします。

落ち着いて就職活動に取り組み

中には4月のスケジュールが空白となり、やる気がそがれてしまった人もいます。しかし、5月の授業開始後は、学業と就職活動を両立するために過密なスケジュールになることが予想されますので、今こそ落ち着いて就職活動に取り組むことが望まれます。企業研究、自己分析の見直し等、やることはいくらでもあります。個別相談をはじめキャリアセンターの活用をお勧めします。

キャリアセンター開室時間等

学生会館の開館時間の変更に伴い、5月5日(木)までのキャリアセンターの開室時間は、月～土曜日9:00～17:00(相談受付は9:30～16:00)になります。

平日16:30～17:00開催の「就活ミニセミナー」も、5月5日までは中止となります。また、授業開始日程の変更に伴い、4月中の所沢就職指導室での個別相談はお休みになりますので、ご注意ください。

■キャリアセンター

【Tel】 03-3203-4332 【E-mail】 career@list.waseda.jp

いざという時のために 一大地震対応マニュアルより

日ごろから準備しておくこと

①教室・研究室で準備しておくこと

- 最寄りの非常階段の位置はどこか
- 最寄りの消火器の設置場所はどこか
- いざというときに部屋から避難しやすいか
- 一時避難場所や広域避難場所への避難経路を確認しているか
- 自宅へ歩いて帰宅する場合の経路は決まっているか
- 家族との連絡方法は決めているか（災害用伝言ダイヤルを使うとよい）
- 研究室の関係者の緊急連絡先を知っているか
- 薬品庫は収納された薬品が転倒しないようになっているか
- 高圧ガスのボンベの転倒防止はしてあるか
- 実験動物は逃げ出さない構造になっているか

②自宅で準備しておくこと

- 照明、棚、たんすなどの転倒防止はしてあるか
- 避難場所を知っているか
- 避難経路を決めているか
- 貴重品は安全な場所に保管してあるか
- 非常持出し品を準備しているか

③事前に登録しておくこと ー災害伝言板サービスー

あらかじめ指定した家族や知人に対して、災害用伝言板に登録されたことをメールでお知らせする機能も提供される。また、インターネットからも安否情報の確認が可能。

NTTの災害伝言ダイヤル

(1) [自分の情報を相手に伝えたいとき] = 伝言録音

[171] + [1] + [自分のTEL] + [自分のメッセージ録音]

- ① [171] をダイヤルする
- ② ガイダンスに従って [1] (暗証番号ナシ) をダイヤルする
- ③ 自分の電話番号をダイヤルする
- ④ 30秒以内で自分のメッセージを録音する
※暗証番号がある場合は
[171] + [3] + [4ケタの暗証番号] + [自分のTEL] + [自分のメッセージ録音]

(2) [相手の情報を聞きたいとき] = 伝言再生

[171] + [2] + [相手のTEL] + [相手のメッセージ再生]

- ① [171] をダイヤルする
- ② ガイダンスに従って [2] (暗証番号ナシ) をダイヤルする
- ③ 相手の電話番号をダイヤルする
- ④ 相手のメッセージを再生する
※暗証番号がある場合は
[171] + [4] + [4ケタの暗証番号] + [相手のTEL] + [相手のメッセージ再生]

各社の災害伝言板サービス

NTTドコモ 「iモード災害用伝言板」

[URL] <http://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/>
iモード→iMenuトップに表示される「災害用伝言板」を選択

au 「EZweb災害用伝言板」

[URL] <http://dengon.ezweb.ne.jp/>
EZweb→トップメニューに表示される「災害用伝言板」を選択

Soft Bank 「災害用伝言板」

[URL] <http://dengon.softbank.ne.jp>
Yahoo!ケータイ→トップの「災害用伝言板」を選択

各社のQRコード



NTTドコモ



au/ツーカー



ソフトバンク



ウィルコム

総務省消防庁-防災マニュアル

災害時のシュミレーションができる。事前に確認しておく！
[URL] http://www.fdma.go.jp/bousai_manual/index.html

災害が発生したら

地震発生 ー自分の身を守るー

大学にいるとき

- 窓や柵のような、ガラス等割れたり中のものが飛び出しそうなものから離れる
- 机の下などにもぐるか、バッグ・衣類などで頭を覆うなどして、落下物から頭と手足を守る
- 余裕があれば、ドア付近にいる人は、ドアを開け、出口を確保する
- 実験中など火気を使っている人は、火を消す。また、薬品などから離れる
- 広場やグラウンドなど、落下物がない場所にいる場合は、その場で座り込み揺れがおさまるのを待つ

通学中

- 周辺の状況に注意し、身の安全の確保を最優先とする
- 通行中は塀、電柱、自動販売機などから離れ、落下物にも注意する

揺れがおさまったら

1.自分のいる場所は安全か確認

YES→その場で動かない NO→一時集合場所へ避難

※火災が迫り、一時集合場所へ避難できない場合は、近くの安全な場所へ避難する

2.自宅に歩いて帰ることができるか確認

YES→自宅へ NO→避難所へ

落ち着いたら大学へ安否を知らせる ※電話での報告は控えること

Waseda-netポータルからの報告する場合

「左メニュー」→「システムサービス」→「申請フォーム入力」→「大地震発生の大学への安否報告」から送信

はがきによる報告の場合

表題「安否報告」・氏名・学籍番号・本人や家族の怪我の有無、住所・困っていること・自宅や避難場所付近の状況を記入し、所属の学部・研究科事務所に郵送。

緊急お知らせサイトの案内

「早稲田大学緊急お知らせサイト」は、早稲田大学からの緊急時の連絡用に設置されたサイト。気象状況悪化による休講等の取り扱いについてのお知らせなどが掲載される。ぜひご自身のPCや携帯電話の「お気に入り（ブックマーク）」に登録しておく。

■早稲田大学携帯向けお知らせページ

[URL] <http://m.waseda.jp/> ※携帯からのアクセス可能

■早稲田大学緊急お知らせサイト (Yahoo!ブログ)

[URL] http://blogs.yahoo.co.jp/waseda_public/
※携帯からのアクセス可能

■メディアネットワークセンター

[URL] <http://www.waseda.jp/mnc/emergency/index.html>



早稲田大学緊急お知らせサイトQRコード

その他の注意事項

地震が起こった時の電話の利用方法

地震、事故等の災害発生時に、大量の電話が殺到すると、被災地域内における電話が大変つながりにくくなってしまい、このため、安否確認や、消防、警察への連絡等に支障が多く発生する。あなたの「かけない」が被災地の緊急な通話を救う。

- 通信設備の容量には限りがあるので、できるだけ手短な電話とする
- 災害用の伝言ダイヤルや伝言板を利用する
- 被災地からの電話は、公衆電話が比較的つながり易くなっている
- 災害時の安否確認方法を、家族、親族間等で決めておく、いざという時に役に立つ
- 災害直後は被災地への電話が集中するためつながりづらい。被災地内の緊急な電話がスムーズに利用できるようにするため、不急な電話やリダイヤルを控えて暫くたってから掛け直す

(社団法人電気通信事業者協会Webサイトより)

チェーンメールを受け取った際は、転送は止める！

東日本大震災に関連して、チェーンメール、電子掲示板、ミニブログ等で誤った情報が流れている。報道や行政機関のWebサイト等の信頼できる情報源で真偽を確かめ、これらのチェーンメール等に惑わされないようにしよう。

また、チェーンメールを転送することは、いたずらに不安感をあおることにつながる。チェーンメールを受け取った時は、すみやかに削除して転送を止めること。

チェーンメールと考えられる例は、(財)日本データ通信協会が運営する「迷惑メール相談センター」ホームページで確認することができる。

■迷惑メール相談センター

[URL] <http://www.dekyo.or.jp/soudan/>

(総務省Webサイトより)

② 風評やデマに惑わされないために

教育・総合科学学術院 教授 花田 達朗

うわさ、風評、風説、デマ、流言蜚語というレベルがありますが、世の中には濃度の差はあっても多かれ少なかれ常にそうした「根拠のない」「事実無根」の情報は流れています。その伝播ルートは以前には「口コミ」が主でしたが、最近はケイタイメールやツイッターなど新ルートが登場してきました。そしてそれらが「口コミ」と組み合わせられていきます。

風評やデマが世の中に大量に発生し、人々の行動に実際に影響と威力を及ぼすほどまでになるには、それなりの環境条件が必要です。それは社会がいわば不健康で極限の状態にあるときだと言えます。たとえば、大不況の中の沈滞と乏しい希望、戦時下の心理の高揚感と抑圧、大きな自然災害や原発事故などの際の極度の不安と緊張などです。

そうした社会環境の下地があると「情報の空白」が生まれると、あるいは情報源（事実とされる情報の発表元、政府機関や原因企業や専門家）そして報道源（発表や状況を伝達するメディア）への不信感が生まれると、その間隙を埋めるかのように風評やデマが発生し伝播します。つまり客観的事実について納得のできる十分な量と質の情報が乏しいとき、そこに二セモノの言説が引き寄せられていくのです。

では、いま情報の受け手としての我々はどうすればよいでしょう。簡単なことは複数の情報源と報道源をチェックすることです。出典の確認できない伝聞情報にすぐに反応しないこと。大学生としては、風評やデマの発生源やリレー役にならないことはもちろんですが、その追随者になることもみっともない。むしろ諸君には、風評やデマが発生している社会状況やメカニズムを冷静に観察し、また情報源や報道源に対する社会的不信感がどこからやってきたのかを歴史的に分析する視点と態度が求められています。つまり氾濫する情報に惑わされない最良の策は、いま社会がどのような厳しい緊張状態に置かれているかを理解し、自分もまたその中の一員であることをできるだけ客観視しようと努めることなのです。こうした時にこそ「大学生的」な理性を示さなければならないといえるでしょう。

花田 達朗 (はなだ・たつろう)

教育・総合科学学術院教授。全学共通副専攻ジャーナリズムコースのコーディネーター代表。ジャーナリズム教育研究所長。専門はメディア研究、ジャーナリズム研究、社会学。

Ⅱ 主なイベントのお知らせ 各イベントにつきましては、下記の通り実施いたします。

早慶レガッタ

日程・会場を変更して実施いたします。

【開催日】4月23日(土)

【会場】戸田オリンピックボートコース

【URL】<http://www.the-regatta.com/>

※早慶レガッタでは、当日部員が会場にて募金活動を行う予定です。



早慶明チャリティーマッチ

【開催日】5月5日(木)・開始時間未定(詳細はWebサイト等でご確認ください)

【会場】秩父宮ラグビー場

【URL】「大学ラグビー連合義援金募金プロジェクト」

<http://www.daigakurugbygienkin.jp/>

東京六大学野球春季リーグ戦

全日程、第1試合は10:00～、第2試合は13:00～行います。早慶野球戦は予定通り、5月28日(土)、29日(日)に実施いたします。(午後1時開始)

【URL】<http://www.big6.gr.jp/index.html>

※東京六大学野球連盟では、収益金の一部と会場で募った募金を義援金として被災地に寄付いたします。



Ⅱ セミナーハウスについて

東日本大震災の影響により、臨時休業していた菅平・伊豆川奈セミナーハウス(いずれも通常は通年オープン)ならびに4月中旬にオープン予定であった軽井沢・松代セミナーハウスについては、5月7日(土)の利用から、4月22日(金)よりWaseda-netポータルで申込みを受け付けます。前期・夏季・後期の利用申込み日程はセミナーハウスHPでご確認ください。

なお、鴨川セミナーハウスについては被災者の受け入れについて検討を現在行っているため、利用再開時期は決まり次第、改めてWaseda-netポータルでお知らせします。

【問い合わせ先】 学生生活課セミナーハウス担当

【Tel】 03-3203-4341 (平日9:00～17:00)

【E-mail】 seminar-house@list.waseda.jp

【URL】 <http://www.waseda.jp/student/kosei/seminar-house/>

「新入生スタートアップ講座」の受講期間

● Course N@viを知ろう!

【受講期間】 3月29日(火)～

● わせだライフABC ～充実した学生生活のために～

【受講期間】 3月29日(火)～

※8月10日(水)までに、テーマ1・2は必ず受講してください。

● 新入生コンピュータセキュリティセミナー、情報倫理テスト

【受講期間】 3月29日(火)～6月6日(月) 13:00まで

【URL】 <http://www.waseda.jp/mnc/EDUCATION/2011/fresh201104.html>

留学フェア

【開催日】 5月7日(土) 詳細は留学センターにお問合せください。

【URL】 <http://www.cie-waseda.jp/studyabroad/index.php>

早稲田学生文化・芸術祭2011

【開催期間】 6月7日(火)～12日(日) 予定

※イベント中止・期間変更等の場合は、Waseda-netポータルでお知らせいたします。

本庄-早稲田100キロハイク

【開催期間】 6月18日(土)・19日(日)

Ⅱ 家庭教師登録(春期)日程の変更

下記の通り変更いたします。登録を希望する学生のみなさんはご注意ください。登録時間等の詳細については、登録開始前にWaseda-netポータルでお知らせいたします。

変更後日程

5月9日(月)～5月13日(金)、5月16日(月)～5月20日(金)

【問い合わせ先】 学生生活課②番カウンター

【Tel】 03-3203-4341 (平日9:00～17:00)

【E-mail】 katei-kyoushi@list.waseda.jp

Ⅱ 『早稲田ウィークリー』発行日変更のお知らせ

『早稲田ウィークリー』は5月12日(木)より発行開始いたします。詳しくは下記URLをご参照ください。

【URL】 <http://www.waseda.jp/student/weekly/info/info023.html>

東日本大震災に対して ボランティアを考えているあなたへ

平山郁夫記念ボランティアセンター (WAVOC) には、「ボランティアをしたい!」という声がたくさん寄せられています。現在、津波被害地では、建物からの汚泥や土砂の片づけボランティアが多数必要になっています。また、現地に行くだけでなく、東京でやる支援もあります。被災現場の方々に迷惑をかけることのないよう、しっかり情報を集め、自分ができることを探してください。

現地でボランティアをしたい!

情報収集が大切

ボランティアをするにあたっては、事前の情報収集と準備が必須です。どこで何をやるのか、そこで何が必要とされているのか、そのためにどのような準備が必要か、これらをしっかり確認した上で、ボランティア活動にのぞんでください。

何もわからないまま、リュックサック一つでいきなり現地へ乗り込むようなことは慎んでください。

被災地に行く前の心得

WAVOCはこれまでたくさんの学生ボランティアの応援をしてきました。その経験から、これから被災地へ行ってボランティア活動をしようとする学生にこれだけは守ってほしいことを示します。よく読んでしっかり理解してください。

学生震災ボランティアの心得10か条

1条 ボランティア保険に入る

ボランティアの基本は「自己責任」です。何か事故や病気があっても自分で対応することになります。保険に入ることはそのための準備になります。

2条 自分の食料と寝る場所は自分で確保する

「とりあえず避難所で食べて寝ればいいや」というのは間違いです。特に、夜は治安の問題などもありますので、安全に宿泊できる場所をあらかじめ確保してください。

3条 被災地では信頼できる人と一緒に行動する

活動をするにあたっては安全に十分に注意してください。性暴力など被災地で起こりがちな危険な問題に巻き込まれないためにもできるだけ単独行動は避けてください。

4条 被災者が自分たちでやる仕事を取らない

被災地に行くことができることをすべて「やってあげたい」という気持ちになりがちです。しかし、復興するのは現地の人たちです。その力をどう応援できるかが大切です。

5条 涙が止まらなくなったら活動をやめる

悲惨な現状や嗚咽する人などに接する場合、自分も心の傷を受けることがあります。自分の心をコントロールできない時はその場から離れたり自宅に帰る決断をしてください。

6条 できないことは「出来ません」とはっきり断る

被災した人の依頼を断るのは難しいことです。しかし、無償のボランティアでも「やります」と言ったことには責任が伴います。無責任にならないよう行動することが必要です。

7条 不眠不休で頑張らない

被災地では気持ちも高ぶり使命感から精一杯活動することにもなりがちです。しかし、疲労から病気になることは被災地の迷惑になります。休むなど体調管理に注意してください。

8条 被災者の写真はとらない

友人や仲間へ報告するために写真を撮りたくなると思います。しかし、そこは被災者の空間です。原則として被災者や倒壊した家、ボランティアの集合写真は控えてください。

9条 まずは相手の話を聞く

被災者を少しでも元気づけようと「○○さんの分まで頑張ってください」「元気がなってください」と言いがちです。励ましの言葉を軽々しくかけないことも大切です。

10条 ボランティア活動の運営について批判はしない

被災地のボランティア活動では「仕事がない」、「指示が悪い」などの批判もあります。しかし、憤慨しても何も生まれません。できることは何かを自分で考えて行動しましょう。

信頼できる情報を

さまざまな形で震災支援関係のボランティアが募集されていますが、WAVOCからは東京ボランティア・市民活動センターの情報を紹介します。多様な団体がありますので、必ず情報をしっかり吟味するようにしてください。

■東京ボランティア・市民活動センター (東京都社会福祉協議会運営)
[URL] <http://www.tvac.or.jp/>

物資の支援をしたい!

現地のニーズは刻々と変わります。受付けている団体、受付けている物品、受付のタイミング、すべてが変化しますので、最新の情報を集めてください。また、各団体で物資の仕分け作業を軽減するためのルールを示していますので、各団体のホームページ等で確認してください。ルールに則っていない物資は、むしろ迷惑になります。

長期的に関心をもち続ける!

今後の復興には長期的な支援が必ず必要になります。どうか、今の熱い思いを一時の感情としないで、長期的な関心を持ち続けてください。要望があったらボランティアできるように、心と体の準備をしておきましょう。

WAVOCでも独自の支援活動を始めます。早く情報を得たい方は、「WAVOCメールニュース」に登録してください (登録はWAVOCホームページから)。

平山郁夫記念ボランティアセンター (WAVOC)

【開室時間】月～金 10:00～18:00

【URL】<http://www.waseda.jp/wavoc>

【E-mail】wavoc@list.waseda.jp 【Tel】03-3203-4192

義援金を送りたい!

学内では、主に本学学生等を対象に募金活動を実施しています。集められた義援金は、日本赤十字社へお届けします。

■受付期間

銀行振込: 2011年3月24日(木)～7月31日(日)

義援金受付箱による受付: 2011年3月24日(木)～4月23日(土)

※期間については変更することがありますので、大学HPでご確認ください。

■受付方法

(1) 銀行振込の場合

三井住友銀行 高田馬場支店 普通預金4610962

加入者名: 早稲田大学 東北地方太平洋沖地震義援金

※海外からの送金の場合のコード SMBCJPJT

※三井住友銀行本支店、三井住友銀行ATM、一部のコンビニエンスストアATMからは振込手数料が無料です

※海外からの送金は別途手数料がかかりますのでご注意ください

(2) 義援金受付箱による受付 (事務所開室時間内に受付)

政治経済学術院、法学学術院、文学学術院、教育・総合科学学術院、商学学術院、理工学術院、社会科学総合学術院、人間科学学術院、スポーツ科学学術院、国際学術院、高等学院、本庄高等学院、芸術学校、川口芸術学校、図書館、学生会館、大隈会館、平山郁夫記念ボランティアセンター (WAVOC)、研究推進部、エクステンションセンター

※受付箱の詳細な設置場所については、各箇所にご確認ください。

※現金 (日本円) 以外の投入 (小切手、商品券など) はご遠慮ください

※ (1)、(2) の場合とも、領収書は発行いたしませんのでご了承ください。

■義援金/問い合わせ 総務部総務課

【Tel】03-3203-4333 (平日9:00～17:00)